

# 学校だより



## 特別号

E-mail : [svoran-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:svoran-s@edu.city.kyoto.jp)

平成28年3月18日

京都市立翔鸞小学校

校長 安藤 裕子

Tel:075-462-0084

Fax:075-462-0086

### 第2回学校評価へのご協力、ありがとうございました

日ごとに暖かさを増し、花の季節もすぐそこまで来ているようです。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、1月末にはお忙しい中、2回目の学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。前期にご紹介した項目について後期も掲載し、ご一緒に考えていきたいと思います。多くの皆様からのご意見を大切にし、今年度の取組のまとめと来年度への課題を明らかにして、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願ひします。

◎よくあてはまる ○どちらかといえばあてはまる △どちらかといえばあてはまらない ×あてはまらない

◎と○の結果を「達成している」項目と考えて、考察と改善策を考えています。

### <確かな学力>

評価項目		児童	保護者	教職員
子どもが意欲的に学習に取り組む	前期	79.8	83.9	100
	後期	82.6	85.5	95.3
基礎・基本の力を身につけている	前期	92.6	81.1	100
	後期	89.4	82.3	81.0
自分の思いや考えを進んで書いたり話したりする	前期	73.8	56.1	100
	後期	78.8	60.9	61.9
いろいろなことに、めあてをもってがんばる	前期	83.8	67.9	80.0
	後期	84.4	67.3	80.9
家庭学習に取り組む	前期	67.2	60.8	75.0
	後期	69.3	62.8	70.0
あきらめず、最後まで粘り強く取り組む	前期	79.6	67.6	60.0
	後期	79.3	75.4	76.2
進んで本を読むこと	前期	83.3	50.3	40.0
	後期	81.5	45.1	71.4



### ◆考察と改善策

- ・学習のねらいや児童のめあてをより具体的にしたり、ノート指導の工夫をしたりと、授業の工夫に取り組む中で、児童の学習への意欲は少しずつ高まってきていると考えられますが、どの児童も「わかった」「できた」という達成感が味わえるよう、さらに個々の児童に適した支援の仕方を工夫していきます。
- ・算数の時間には、「問題」「めあて」「自分の考え方」「みんなでの解決」「学習のまとめ」「ふりかえり」など、順を追ってノートに整理することで、自分のノートで学習の振り返りがきちんとできる児童が増えてきました。今後、どの児童も自分のノートを使って自分で学習が進められるよう、個々の実態をきちんと見てノート指導を進めていきます。
- ・基礎・基本の学力が定着するよう、朝と昼の帯時間や木曜日の課外学習の時間をより有効に使うようにします。
- ・学校での朝読書は、後期もどのクラスも落ち着いて取り組んでいました。しかし、家庭で読書をする習慣は、まだあまり定着していないようです。学校では、「100冊読書」を目指したり読書ノートを工夫したり、また校長室でシールを貼ったりする等、読書意欲が高まる取組をしています。ご家庭でも、ぜひ親子で読書の楽しさを味わってください。
- ・家庭学習を習慣づけることが、学力向上につながります。自主学習の課題について、学年の発達段階に応じて具体的に示したり評価をしたりすることで、より意欲的に取り組めるよう支援をしていきます。学校からお配りした「家庭学習のすすめ」をご活用いただき、おうちでもお声かけください。

## <豊かな心>

評価項目		児童	保護者	教職員
子どもが進んであいさつすること	前期	93.6	81.1	60.0
	後期	91.8	82.2	59.1
子どもが学校で一人一人 大切にされること	前期	96.9	87.8	100
	後期	94.9	89.8	100
子どもが学校で楽しく過ごすこと	前期	93.5	92.3	80.0
	後期	94.1	94.9	95.5
子どもが学校できまりや 約束を守ること	前期	93.3	86.7	80.0
	後期	89.4	84.2	86.4



### ◆考察と改善策

- 児童は進んであいさつをしていると評価していますが、「相手に届くあいさつ」をしたり「自分からあいさつ」をしたりすることなど、まだ不十分な部分もあります。特に、来校者など知らない人へのあいさつがなかなかできない児童も多いようですので、引き続きあいさつについての指導をしていきます。児童会では、継続して「あいさつ運動」に取り組んでいます。ご家庭でも、気持ちのよいあいさつができるようお声かけください。
- 「一人一人大切にされること」「学校で楽しく過ごす」については、評価は高いです。しかし、少数ではあっても、あまり楽しくないと感じている児童がいることはしっかりと受け止めたいと思います。これからも子ども達の姿をしっかりと見て、保護者の方の不安や心配な思いに寄り添って、子ども達が安心して過ごせる環境をつくっていきたいと思います。

## <健やかな体・学校独自の取組>

評価項目		児童	保護者	教職員
子どもが毎日、朝食を食べること	前期	97.1	95.2	100
	後期	95.0	95.3	81.0
子どもが早寝・早起きをすること	前期	69.0	69.0	60.0
	後期	66.1	61.7	42.9
地域や保護者と協力して 子ども達の安全を見守ること	前期	96.8	95.7	100
	後期	96.8	96.3	95.4



### ◆考察と改善策

- 「朝食」については、毎日食べて登校している児童が多いです。冬休み明けの「生活調べ」を見ると、朝食の内容が夏休み明けの「生活調べ」の時に比べて充実し、おうちの方が、子ども達の健康を考えて工夫してくださっていることが分かりました。これからも、よろしくお願ひいたします。
- 「早寝・早起き」については、「生活点検」の結果も合わせてみると、後期の方が寝る時刻も起きる時刻も遅くなっています。また、高学年にいくほど遅くなっているのが現状です。これは、毎年同じ結果になっています。また、そのために、学年が上がると朝食を食べる割合も減っています。睡眠によって昼間の疲れがとれますし、成長期の子ども達は、寝ている間に成長ホルモンが出て体がしっかりとつくられています。睡眠時間を大切にするよう家庭と連携して指導をしていく必要があります。
- 「安全を見守ること」については、毎年、児童も保護者も高い評価がでています。今後も、地域の皆様のご協力をいただきながら、子ども達の安全をしっかりと見守っていきます。

## 《学校運営協議会委員の皆様からのご意見》

- あいさつについては、朝に家を出る時の気分も大きく関係していると思われる。決められた場所だけでなく、どこででも誰に対しても自分からあいさつができるよう、大人がまずあいさつをして示していきたい。
- 家の手伝いが習慣づいていないように思われる。手伝いができるよう、小さい頃から習慣づけていくことが大切だと思う。
- 「朝食をあまり食べてない」子が5%もいる。季節的に、冬場はぎりぎりまで布団の中にいる子が多いのではないかと思われる。朝ごはんを食べる習慣をつけたい。
- 週に1回や月に1回でもよいし家の近所でもよいので、保護者の方にもできる範囲で登下校の見守りに立ってもらえるとありがたい。
- 保護者が学校に关心をもち、気軽に足を向けられるように、学校としての思いを見える形で伝えるようにしていってほしい。

## 自由記述欄から（一部抜粋）

○先日は、自由参観で子どもが友達の中に入り積極的にドッジボールをしている姿が見られて、成長を感じ、とてもうれしかったです。自由参観は、子どものいろんな表情が見られるので楽しみです。

・自由参観は、6月と1月に実施しています。6月には、災害時の引渡訓練も同じ日に実施しています。自由参観日には、休み時間など普段の授業中とは違った姿も見ていただけますので、来年度も是非ご参観ください。

○最近では、6年生の取り組みに、英語でいさつをする。とても良い事だと思います。これからも、色々新しい事を時代に合わせて取り組んでいってほしいです。

・朝の正門前のいさつ運動の時に「Good Morning」といさつをしている日があります。他にも、図書室に英語図書コーナーがあったり、給食時間の放送の時に、放送委員会が「イングリッシュ シャワー」に取り組んでくれたりしています。これからも、子ども達の感性を大切にしながら、色々なことに取り組んでいきたいと思います。

○地域の皆様のご協力のおかげで、行事も楽しく参加でき、登下校も見守られていると感じます。ありがとうございます。

○地域の活動が多く、たくさんの方々に支えていただき、子ども達は幸せだなあと感じています。

○地域の方々のおかげで行事も楽しく参加でき、登下校も見守られていると感じます。ありがとうございます。

○学校・地域・保護者で協力し、子ども達を見守る気持ちがあり、素敵な学区だと思います。

○毎朝、見守り隊の方々が通学路の子ども達を見守ってくださっているおかげで、安心して個々での通学をさせる事ができます。ありがとうございます。

・地域の方への感謝の言葉が、たくさん並びました。一部を紹介させていただきました。

翔鸞校区では、たくさんの地域の方が「子ども見守り隊」に参加して、子ども達の登下校時の見守りや、校区たんけんなどの学習時の見守りをしてくださっています。また、様々な団体の方が、子どもも大人も楽しめるような行事をたくさん企画してくださっています。大変ありがとうございます。

子ども達は、地域の皆様の支えによって安心して通学したり、行事を楽しんだりしていますが、私たち教職員や保護者の皆様も、地域の皆様と一緒に活動をしたり行事に参加したりして、ともに子ども達を見守っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

○国語の基礎に不安がありますが、母の言うことはなかなか入っていかないようで、また、目をかけていただけるとありがたいです。よろしくおねがいします。

○算数がだんだん難しくなり、苦手意識からか自ら取り組もうとする姿勢が見られなくなっていました。繰返し行うことや個別の課題などがあると定着するのではと思い、家では苦手な部分をするように声をかけていますが、やはり、なかなかしないのが現状です。

○1・2年生の基礎的な学習の土台のおかげで、3年生になってから学習の幅が拡がり、社会や理科など、興味深く学んでいるのが印象的でした。

・低学年からの基礎基本が土台になって、高学年の学習が積み重なっていきます。学年が上がるとだんだん勉強が難しくなってきて、苦手な勉強にはなかなか気持ちが向きにくくなっていますが、その学年でつけるべき力がきちんとついていくよう、今後も授業の工夫をしていきます。また、学力の定着には家庭学習や読書の習慣も大切ですので、おうちでも集中して学習できますようご配慮お願ひします。家庭学習の中でつまずいている部分が見られましたら、ご遠慮なく担任までご相談ください。

○毎度のことですが、このアンケートは回答しづらいです。毎回同じ内容ですし。

○アンケートの趣旨を理解したいと思いますが、あまりよくわかりません。

○何故記名アンケートなのでしょうか。

○項目ひとつひとつがとても大切な事ばかりで、実現度と比べると、個人的な事では、やはり毎日の生活の積重ねが大切だと強く感じました。健康的な生活を送れるよう心掛けています。学校・家庭・地域全体で、安心・安全な小学校生活を支えていきたいです。

・アンケートについては、毎回色々なご意見をいただきます。学校評価アンケートは、アンケート用紙をお配りした時のお願いのプリントにも書かせていただきましたように、年に2回、学校に来ている子ども達の声と、お子さんの様子を通して学校の取組を評価していただいた保護者の方の声をお聞かせいただき、教職員の評価も合わせて学校の現状を多面的に分析し、本校教育の成果と課題を見極めて、さらなる充実・向上を目指すために実施しています。アンケートの項目については、前年度からの変化を見るために大きくは変えていませんでしたが、毎年検討してきました。よりお答えしていただきやすいように、さらに検討をしていきます。また、お寄せいただいた声にお返事させていただけるよう、お名前を書いていただく欄を作っています。たくさんのお声をお聞かせいただき、よりよい教育ができるようしていきたいと思います。

OPTAの活動は、今の時代に合ってないと思います。仕事を持っている親など、家庭の状況により本当に大変です。なくすのはダメだけど、全保護者参加型にすればいいと思う。クジで決めるのではなく、当番型みたいになればいいと思います。全員でPTAをやる感じがいいのではと思います。

OPTA本部、役員の皆様のご尽力のおかげで行事ができると思うのですが、夜遅くまで役員会があると、子どもへの影響もあるので、負担を減らせないでしょうか。PTAを廃止した学校もあるそうですが。

・PTA本部・企画委員・学級委員の皆様には、毎年本当にお世話になっています。それぞれに、子ども達が楽しく安全に過ごせるように、保護者の皆様の親睦が図れるようにと、色々な場面でご尽力いただいています。今までの役員の皆様には、子ども達や保護者の皆様のためになり、自分達も楽しんで活動ができるよう、たくさんの方にご参加いただけるよう、色々と工夫をしていただきました。今年度PTA総会で提案された「翔鷺サポーター制度(仮)」の取組も、その一つと言えると思います。また、今年度色々な形で参加していただいた方の声を、PTA広報誌「はばたき」(3月発行)に載せていただいています。PTA活動にご理解をいただいて、たくさんの方がご参加いただければありがたいです。

○夏休み・冬休み期間中、もう少し図書室開放日を増やしてほしいです。

・子ども達にたくさんの本を読んでほしいと思い、長期休業中の図書室の開放をしています。冬休みについては、時間が短い上に休みの日も多いので、なかなか難しいかと思われます。夏休みについては、プールや学習会などの日程も考慮して検討してみます。長期休業前には2冊の貸出をしていますので、そのうちの1冊は、普段読んでいる本とは違うジャンルの本や、長編の本にチャレンジしてほしいと思っています。

○子どもが、先生や親に言われたことを忠実に行う指導よりも、自分で考え実践できるような取組をしてほしい。思った結果がでなくても、それは「失敗」ではなく「試みのひとつ」ととらえ、あきらめずに自信をもつよう見守ってほしい。

・学校としても、同じ考え方をしています。学校教育目標を「自ら考え 意欲的に実践する子ども」とし、どちらかというと指示を待つことの多い子ども達が自動的に活動できるよう取り組んでいます。指導すべきことはきちんと指導しながらも、授業中は、今まで学習してきたことを使ってまず自分で解決方法を考え、その後自分の考え方を説明しながら全体で話し合いをして解決をするようにしています。児童会活動や縦割り活動でも、高学年の児童を中心に、子ども達から出た意見を大切に進めています。保護者の方と同じ方向を向いて、意欲的に活動する子ども達を育てていきたいと思います。

保護者の皆様からのご意見を一部ご紹介いたしましたが、他にも、学校への励ましの言葉や厳しいご意見などもいただいています。いただいたご意見を真摯に受け止めて、一つ一つのことに向き合いながら、保護者の方と共に、子ども達がより楽しく学校生活を送り、しっかりと学力をつけていくよう取り組んでいきます。学校生活についてのご心配などがありましたら、連絡帳などでご遠慮なくお知らせください。また、子ども達の頑張りも教えていただければうれしいです。そして、参観日や懇談会にも足を運んでいただき、学校の様子も見ていただけたらと思います。学校からも、たくさんの情報を発信していきます。今後も、保護者の皆様と協力して子ども達を育てていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

### 《お知らせ》

今年度も、子ども達の安全の見守りや学習の支援等で、たくさんの地域の皆様にご協力をいただきました。  
その様子を掲載した「翔鷺コミュニティだより」を、地域委員様を通じて回覧させていただきました。

・社会科や生活科の学習で子ども達が校区たんけんをする時に、安全面の見守りをしていただいたり、安全に関わる設備について教えていただいたりしました。  
・社会科や生活科の学習で、昔の道具の使い方や昔遊びの仕方を教えていただきました。  
・葉牡丹や野菜等の栽培活動の時に、世話の仕方を教えていただいたり、手伝っていただいたりしました。  
・各教室で、子ども達に本の読み聞かせをしていただいたり、図書室の本の整理をしていただいたりしました。  
・子ども達の登下校の時に、通学路に立って、子ども達の安全を見守っていただきました。  
・毎月第1日曜日の朝、校内の清掃や整備をしていただきました。

「翔鷺コミュニティだより」をご覧いただき、少しでもお力を貸していただけそうなことがありましたら、是非、学校までお声かけください。よろしくお願ひいたします。

**地域とともにある 学校づくりをめざして**